

木古内まちづくり体験観光推進協議会 役員名簿

- 会 長（１名） 東出文雄（木古内町観光協会）
副会長（若干名） 近藤 公（木古内商工会青年部）
輪島 桂（ＪＡ新函館木古内支店）
新井田征人（上磯郡漁協青年部）
- 会計監査（２名） 手塚恵子（木古内商工会女性部）
舩野信夫（咸臨丸とサラキ岬に夢みる会）
- 顧 問（若干名） 大森伊佐緒（木古内町長）
木元 護（木古内商工会長）
- オブザーバー（若干名） 小林 功（はことれ代表）
- 事務局 事務局長（１名） 工藤嗣美（旧まちづくり戦略会議会長）
事務局次長（若干名） 竹田光伸（木古内商工会青年部）
金子 誠（木古内商工会）
局員（若干名） 吉川衆司（木古内商工会青年部）他、商工会青年部有志・
藤谷晃章（木古内町産業経済課）
中山 啓（木古内町まちづくり新幹線課）
伊藤光雄（木古内商工会）
多田賢淳（木古内町観光協会）

議案第3号 平成22年度事業計画(案)

1. 重点目標

体験型観光及び教育旅行とまちづくりの研鑽

初の試みであることから、会員個々がまちづくりとしての体験観光とは何かを自主研鑽、専門家等を招聘しての研修、先進地域との交流を通して基本的知識を身につける。

組織態勢の充実と人材の育成

会員相互の情報交換や交流によって連携を通して組織の目的に対するの共通認識を深めることによって個々の資質向上を図る。

地域の資源発掘とメニューの開発

体験観光に相応しい地域内の資源や人材を調査発掘し、観光産業となりうる視点から地域特有の体験観光メニューをまとめる。

広報及び誘致活動の推進

組織を挙げて様々な手法で地域内の体験観光サービスを広く広報し、教育旅行を対象にした誘致活動に取り組む。

学びとしての体験観光の実施

体験観光の広報誘致を積極的に展開し、組織一体となって体験観光を実践し個々が取組態勢を学習してノウハウを身につける。

2. 会 議

定期総会	年1回	
全体会議・拡大全体会議		必要に応じて随時
役員事務局会議	随時	
事務局会議	随時	

3. 事業内容

第1回学習会	体験型観光及び教育旅行の基本的理解 専門機関やプロパーによる講義	3月(設立総会併催)
第1回ワークショップ (全体会議)	地域の体験資源の発掘と調査 会員で意見交換	4月
第2回ワークショップ (全体会議)	体験学習のメニューづくりと推進の課題 会員で意見交換	5~6月
広報パンフレットづくり	A3判で二つ折り	1,000部 6~8月
第1回体験観光(教育旅行)の実戦	7月6日(火)	日帰り 宮城県金成中学校(約80名)
第2回体験観光(教育旅行)の実戦	9月 日()	1泊又は2泊 秋田県北秋田市立西鷹巣小学校(12名)
広報及び誘致活動の展開	9~12月	新幹線青森開業も併せて

その他 他の研修会への参加 随時
 他の体験観光事業への参加研修 豊裏町、知内、松前町など
 指導員資格の取得 2名 11月

議案第4号 平成22年度予算計画(案)

収入の部

科目	予算額	備 考
基金	20,000	
助成金	200,000	町等助成金(予定)
事業収入	20,000	体験観光(2回)
合 計	240,000	

支出の部

科目	予算額	備 考
事務費	20,000	郵送・消耗品など
研修費	60,000	研修費・他団体研修参加経費・指導員資格取得
事業費	150,000	パンフレット製作 120,000 体験型観光運営経費 30,000
予備費	10,000	
合 計	240,000	

議案第5号 その他
